

平成27年度事業計画(案)

【平成27年度の運動方針】

日本の美風の「蘇生」と「新生」
—2020年東京オリンピック・パラリンピック成功に向けて—

【平成27年度重点活動】

1. 「小さな親切」実行章
2. 第40回「小さな親切」作文コンクール

公益目的事業 1

[公1＝「小さな親切」運動を通じて国民の心身の健全な発展と豊かな人間性を涵養]

1. 「小さな親切」実行章贈呈事業

親切実行者（個人・団体）の表彰活動
各地域での実行章伝達式・贈呈式の開催

■新たな取り組み

- ・拾得物届出をした子どもたちを中心に警察官(交番・派出所)から善行者を推薦してもらい、表彰する。

■変更

- ・実行章バッジの無料提供を取りやめ、希望者に購入してもらう。
- ・個人用額をネットで購入してもらう。

2. 第40回「小さな親切」作文コンクール

後援 内閣府 文部科学省 NHK 毎日新聞社

協賛 カシオ計算機(株) サクラクレパス(株)

テーマ 「小さな親切」—私のした・うけた・みた・できなかった親切—
※その他テーマを検討中

40周年記念特別賞 団体1件 個人1名

要項・入賞発表 毎日新聞 / 教育新聞

締め切り 平成27年 9月25日(金)

表彰式 平成27年11月28日(土) 全国表彰式席上

■40周年を記念して

- ・40周年記念特別賞を贈呈

3. 青少年すこやか育成事業 < (公財) JKA 補助事業 >

- 1) オリジナル紙芝居の制作
- 2) 被災地向け : ① 工作ワークショップ 講師 有賀 忍 (板絵画家)
② 声優による紙芝居上演 演者未定
被災地外向け : 新作紙芝居を用いた紙芝居授業の実施
講師 馬場喜久雄 (全国小学校道徳教育研究会顧問)
宮島 盛隆 (済美教育センター指導教授・白百合女子大学講師)
- 3) 専用サイトを活用した教育活動

4. みんなつながる、トモダチ作戦

- 1) 団体、地域特性を生かしたあいさつ運動の推進
- 2) あいさつ推進グッズの追加作製と提供
- 3) あいさつ運動実施事例報告

※あいさつ推進グッズの無料提供は、平成 27 年度をもって終了。

5. ことばの魔法プロジェクト

第 3 1 回「小さな親切」はがきキャンペーン

後 援 日本郵便(株) 読売新聞社

協 賛 (株)河出書房新社

テ — マ 1) 心から伝えたい“ありがとう”
2) こんなひとにはなりたくない!

要項・入賞発表 読売新聞

締め切り 平成 27 年 9 月 25 日(金)

表彰式 平成 27 年 11 月 28 日(土) 全国表彰式席上

■変更

- ・テーマ 2) については、さらにわかりやすく、書きやすいものにすべく、日本郵便との検討を行う。

6. 平成 27 年度「小さな親切」運動全国表彰式

後 援 内閣府 文部科学省 NHK

と き 平成 27 年 11 月 28 日(土) 12:30~15:00

ところ 東京・霞が関ビル 35 階 東海大学校友会館

賛助出演 難波圭一氏ほか (有) ケッケコーポレーション所属声優を予定

7. 「小さな親切」誌の刊行 < (一財) 日本宝くじ協会助成事業 >

季刊発行 年 4 回 (春号 5 月・夏号 7 月・秋号 10 月・新春号 1 月)

発行部数 年間延べ 140,000 部

■変更

- ・本文を 20 頁から 4 頁削減して 16 頁に変更するが、内容の充実を図り、数多くの記事を掲載していく。

8. 各地域の親切運動支援

- 1) 地方活動助成費の交付 平成 26 年度会費収入の 12%
- 2) 全国地方本部事務局長会議
と き：平成 28 年 2 月 19 日（金）予定
と ころ：ベルサール飯田橋駅前 2 階会議室 予定
- 3) 地方組織の各種会合への講師派遣、会議出席等

公益目的事業 2

[公 2＝高齢者及び障害者の福祉の増進を目的とする事業]

1. 地域の輪・和・環プロジェクト

車椅子寄贈 100 台

■地方組織の自主活動への転換

- ・平成 27 年度 100 台、平成 28 年度 68 台、平成 29 年度 35 台と地方組織への寄贈台数を削減し、平成 30 年度に運動本部としての車椅子寄贈運動を取りやめる。なお、地方組織で独自に取り組むことは可。
- ・事業としては取りやめになっても、低価格での購入先の案内、必要であればオリジナルプレートの販売などでサポートしていくことを検討していく。

公益目的事業 3

[公 3＝地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業]

1. 日本列島クリーン大作戦（33 回目）

後 援 内閣府、文部科学省、農林水産省、国土交通省、経済産業省、
総務省、環境省、警察庁

協 賛 日本たばこ産業株式会社、スチール缶リサイクル協会、コ・コーラ協会、
日本石鹼洗剤工業会、(公社)食品容器環境美化協会、(公財)日本環境協会

スローガン 美しい日本、美しい心

ごみ袋 250,000 部 <協力：日本たばこ産業(株)>
内訳／ 30ℓ袋 100,000 部・12ℓ手提げ袋 150,000 部
※平成 26 年度ベースで依頼中

エコキャップ収集運動（7 年目）

事業協賛 (株)ニヤクコーポレーション

■変更

〈エコキャップ収集運動〉

- ・実施を希望する県本部、支部には、収益金をワクチン以外(障害者の作業支援、学校の環境教育)にも使うことを知らせる。

2. 日本列島コスモス作戦 (27回目) <協力: (株)サカタのタネ>
コスモス種子袋および種子の斡旋

■変更

- ・これまで希望時期に種子袋及び種子を発送してきたが、これを4月中旬に統一、種子代金の振込日は5月末日とする。

3. 使用済み切手・プリペイドカード・未使用はがき寄贈
協力者氏名をホームページに掲載

■変更案

- ・現在、地方組織は集めた使用済み切手等を運動本部に送付、運動本部でそれらをまとめて年に数回、ジョイセフ等海外支援団体に送っているが、送料の高騰により、今後は直接海外支援団体に送付してもらいたい(送料が二重に発生しているため)。その際、運動本部に協力者氏名をお知らせいただき、ホームページ等でそれらを公表する。
- ・地方組織を経由せず活動している企業、個人に関しては従来通りとする。

公益目的事業 4

[公4=国際相互理解と友好の促進事業]

1. 心の国際交流

「世界親切」運動 (World Kindness Movement=WKM) メンバーとの交流

■今後の事業継続について

- ・心の国際交流はオーストラリアが代表に就任して以来、日本は静観の立場であり、実質的にはこの2年ほど事業としての活動がないことから、公益事業から一般事業への移行を指摘された。平成28年度に向けて、変更認定申請を行いたい。

収益事業

1. はがきキャンペーン作品の書籍化

「涙が出るほどいい話」（河出書房新社発行）等単行本の印税

2. 「小さな親切」運動グッズの販売

初年度はポストカードなどリスクの低い物品を作成、ホームページや情報誌を通じて販売。事務局長会議等でも意見を頂戴し、これを参考として開発することとしたい。

■変更

- ・定款変更を行い、物品等の販売を行い収益をあげる。まずは第一弾として会員、組織向けに、気軽に使用できるポストイットのようなグッズを企画。

その他事業

1. 総会・役員会

1) 第5回社員総会

平成27年6月18日(木) 14:00～16:00 / ベルサール飯田橋駅前

2) 理事会 5回開催

2. 各種パンフレット、ポスター等の作製

1) 基本資料

「小さな親切」運動基本パンフレット

3つ折パンフレット

2) 作品集（作文コンクール・はがきキャンペーン合併版） 4,500部

3) 個人・団体・学校会員証、会員バッジほか

3. 「小さな親切」運動本部特任推進委員の委嘱

特任推進委員数の拡大

広報活動

1. WEBサイトによる情報発信

WEBサイトを通じた運動情報発信 / Facebook、YouTube

2. メディアへの情報提供

メディアへの情報の発信や、番組制作会社・地方組織等との連絡調整